

# 第6回 鳴門市まちづくりデザイン会議を開催

2月の第5回デザイン会議以降に起きた現状や、鳴門市まちなか未来ビジョンのパブリックコメントの結果について報告を行ったほか、まちづくり基本計画の構成と、まちのコアについて議論しました。

参加委員：内藤座長、福井委員、永易委員、林委員、森下委員、河野委員、西谷委員、黒崎委員、池田委員

## 現状報告・パブリックコメントの結果

新スポーツ施設・鳴門センター街ビル・空き家活用支援制度・市役所での夕暮市場の実施等について報告しました。

- 新スポーツ施設の立地について、ボートレース鳴門西側敷地に建設することが報告され、また、今年度より「空き家活用まちづくり支援制度」の新設を報告した。

鳴門市まちなか未来ビジョンのパブリックコメントの結果を報告しました。

- 近年建設費が高騰しており、様々なプロジェクトが中止している。そのような状況を踏まえながら、未来ビジョンの実現を検討していかなければ、ビジョンを作っただけで潰れてしまう。鳴門では賢く進めていくためにもメニューを考えるだけでなく、何をどの順番でいつやるのかをしっかりと精査する必要がある。



鳴門市まちなか未来ビジョン

## まちづくり基本計画

今後の基本計画策定に向けたスケジュールや内容、駅周辺整備について、議論しました。

### 【駅周辺整備について】

- 駅舎内の店舗として、チェーン店は難しくても、地元の食堂であれば成り立つ可能性もあり、今後事業者へヒアリングすることも必要ではないか。
- 駅の再整備を議論する上で、**駅を利用する人を増やすことが重要である**。その際には、昼の駅のことだけでなく、夜の駅のことにも考えることも大事だと思う。
- 現状は鳴門駅を降りても、何もないという印象。駅が動き、西に向くことで、商店街に近づき、人の流れができていくと思う。
- 高速鳴門と鳴門駅が離れており、**高速鳴門を降りた観光客が鳴門駅を訪れるためには、目的となるものが鳴門駅に必要**。鳴門駅の観光案内所が鳴門の歴史や自然等の情報を発信するような拠点となれば、鳴門駅に人が来るのではないか。
- 他都市では、道がわからないと交番に行ってしまう。交番と観光案内所が隣接するなど、その位置関係も駅整備を考える上で重要である。
- 駅を動かし、谷通りが川まで抜けて、まちの構造が大きく変わり、撫養川を県と調整しながら、有効に活用していく必要がある。
- 交通利便性を向上させることは重要であるが、交通の便がよくないことで、滞留する時間が増えるということもあるため、バランスを意識しながら、まちづくりを進めることが重要**。
- 駅はいろいろな人が交差する場所であることから、利便的なものをつくるべき。

## 第6回鳴門市まちづくりデザイン会議 議事録 概要版

### 会議の日程

- 第1回 令和7年3月24日(月)済
- 第2回 令和7年6月13日(金)済
- 第3回 令和7年8月 9日(土)済
- 第4回 令和7年12月2日(火)済
- 第5回 令和8年2月18日(水)済
- 第6回 令和8年6月 2日(火)  
13時半~15時半

鳴門市役所2階大会議室

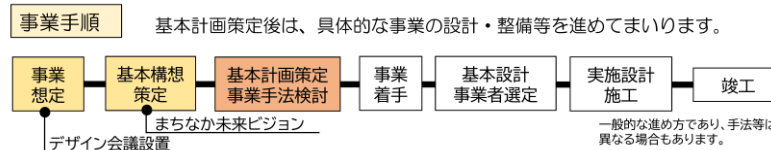


第6回の会議の様子



出典：国土交通省「駅まちデザインの手引き」

### 駅周辺の施設



### 今後の事業手順(想定)

- ・ 撫養川を活用したアーバンSAPは人気が出るコンテンツになると思う。もし泳げるのなら泳げる場所もあっていいのかなと思いました。
- ・ 最近、まちなかを外国の方が歩いているのを目にする。外国の方々は、歴史の流れに忠実に動きたいということで一番礼所をはじめに見に来られる方が多い。お遍路巡りのはじめは撫養港から始まり、撫養街道を通っていた。そのような歴史を大事にするためにも、**鳴門駅周辺を一番礼所に行く前のゼロ番礼所的にして、鳴門に宿泊してもらってから一番礼所に行ってもらおう**のが、よいではないか。
- ・ お遍路は鳴門の宝である。原点に立ち戻り、私たちの誇りとして、**まず鳴門に入ってもらい、ここからスタートするがまちづくりに活かせればよい**のではないかな。
- ・ 関西から来る人には、高速鳴門が鳴門の玄関口となっており、**まちをよくするには鳴門駅を移転だけでなく、町全体での交通体系を見直すことも必要である**。
- ・ 地方都市で広いスペースがあるにもかかわらず、木が少ない場所に感じる。**鳴門を木陰がいいと思うまちにできれば、都市部との差別化を図れる**と思う。
- ・ 汽車公園の整備や観光案内所を充実させるには、鳴門市役所の別の課との連携も必要となる。行政は縦割りで大変と思うが、うまく連携して進めてほしい。
- ・ **駅に必要なコンテンツを考えると、コンテンツとアクティビティと施設を区別したほうがいい**。駅に必要なのか生活の中のどこかにあればいいのかを考えるべき。
- ・ **小さいことからでもいいので、短い時間でできるだけ子どもたちが望んだことを実現するような計画に**してほしい。

#### 【交通量調査について】

- ・ 交通量分析では、鉄道を利用されている方だけでなく、鉄道を利用されていない方にも聞く方法を検討してほしい。
- ・ 交通量調査をやるとなかなか元気のない数字が出てくる可能性がある。ただ、**駅の役割はどれだけの人数が使っているかではなく、鳴門というまちが孤立しないであつたつながつているというメッセージもある**。そこも頭に入れて交通量調査を行っていただきたい。

#### 【ワークショップについて】

- ・ 若い人に支持されないまちづくりはアウトである。若者が未来を感じられないまちは減びていく。若い人へのヒアリングは、若い人を味方につけるという意味でも入念に行っていたきたい。
- ・ 教育委員会行政の中ですと、本音が聞けない可能性がある。放課後のことを聞くのであれば、先生は外に出てもらうなど、上手く意見を引き出してほしい

| 実施目的                                                   | 意見交換の内容                                                                                                       | 対象者・時期                                                   |
|--------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 基本計画に反映する<br>利用者目録の具体化                                 | 機能<br>① 駅舎・交流機能を有する複合施設に必要な機能<br><br>使い方<br>② 放課後・休日・電車の待ち時間など、想定される過ごし方<br><br>プランの是非<br>③ 配置・整備所のつくり方に対する意見 | 鳴門高等学校<br>鳴門渦潮高等学校<br><br>鳴門第一中学校<br>鳴門第二中学校<br>※対象校は調整中 |
| 駅舎と交流機能を備えた複合施設について、主なターゲット層である学生が「使いたい」と思える機能や過ごし方を把握 |                                                                                                               |                                                          |
| プラン(案)やイメージイラスト等を参加者に提示し、意見交換を実施                       |                                                                                                               |                                                          |

#### 中高生ワークショップの内容

#### まちのコアについて

まちのコアの位置について、鉄道の技術的観点から移転可否を議論しました。

- ・ ふたつの東西軸の間に置くと、軌道が直線的な部分であり、技術的な問題が少ない。
- ・ 技術的な問題も踏まえると、**ふたつの軸の間が一番現実的である**と思う。
- ・ 道路を工事するときは、迂回路を設けることができるが、**鉄道の場合は迂回路がなく、運行しながら工事をしないといけない**。お金と時間の制約があるため、何を重視していくがポイントとなる。



鳴門踏切



曲線部状況



軸の位置と鉄道の関係性

#### 社会実験について

未来ビジョン実現に向けて今後実施する社会実験の内容について議論しました。

- ・ 社会実験は成功させないといけない。成功しないと今後やめておこうみたいな話になってしまう。
- ・ 社会実験の結果を踏まえて、谷通りの車線数変更の検討もできるとよい。
- ・ **汽車公園はベンチが多かったり、木が多すぎて暗いイメージがある。子どもがわくわくするような楽しい公園に**してほしい。

#### 次回の議論の方向性

- ・ 駅前に必要なコンテンツ、機能及び配置を整理する
- ・ ゾーン案やコアの位置の評価の検討を行う
- ・ 景観デザインの方向性を検討する
- ・ 社会実験の進捗状況を共有する

これまでの会議で議事録や資料については、市公式ウェブサイトをご覧ください。右のQRコードからも閲覧できます。



§ 次回は、8月開催予定です。ウェブサイト・広報紙にてご確認ください。